

Sankka

讃歌
春号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 循環器内科

心血管センター長に聞きました。

心血管センターを

地域のカテーテル治療の

拠点とし、狭心症や心筋梗塞で悩まれる

患者さんを減らしていきたい。

◎特集② 新しいX線透視撮影装置

短時間の息止めで鮮明な画像を描出。

患者さんに優しい最新鋭のCT装置を導入しました。

◎特集③ 在宅療養あんしん病院とは

もしもの時のために、

「在宅療養あんしん病院」にご登録ください。

◎Fluoriteケーン広場

○知ってよかった「お薬豆知識」講座(第19講目)

○看護部からのお知らせ

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第33弾)

○私の病院自慢あれこれ(第33回)

◎院内散策(25)

○平成25年度看護研究発表会

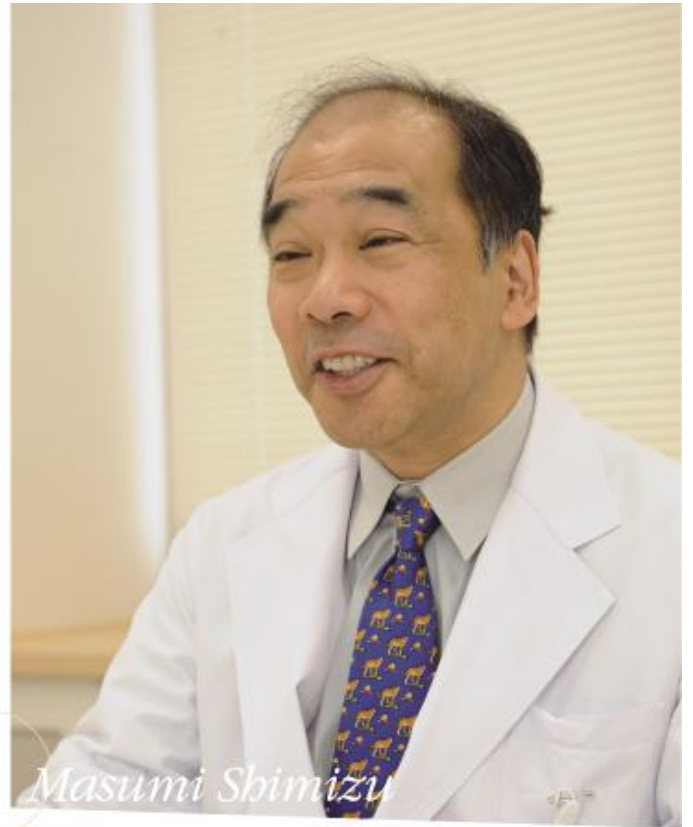


循環器内科
心血管センター長 清水真澄



院長 山本垂水

vol.33
2014 Spring
春号



Masumi Shimizu

特集

1

循環器内科
心血管センター長に聞きました。

心血管センターを

地域のカテーテル治療の拠点とし、

狭心症や心筋梗塞で悩まれる

患者さんを減らしていきたい。

京都市立総合医療センター 循環器内科 心血管センター長 清水 眞澄

高血圧、高脂血症、糖尿病と診断された方には、
心臓のCT検査をお勧めします。

痛と並んで日本人の死因の大きな割合を占めているのが、循環器疾患です。この循環器疾患の中でも直接生命に危険を及ぼすのが、狭心症、心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患です。

この狭心症や心筋梗塞を起こす危険因子として糖尿病、高血圧症、高脂血症があげられますが、2010年度の調査によると、日本の人口の三分の一に当たる約4300万人が、高血圧症（50歳以上の方に限ればほぼ半数）だという結果が出ており、それに糖尿病、高脂血症の数をプラスすると、日本人の半分以上の方が危険因子を持っていることとなります。

さらに、これから閉鎖世代の方々がリタイアの時期を迎えますが、この世代はまさに食の欧米化まっただなかに生きてこられた。また日本の高度経済成長を担って働きづめだったため、運動習慣を身につけている人も少ないと考えられます。そのため今後その方々がリタイアして二息ついた頃、さらに虚血性心疾患の方が増えるのではな

いかと心配されています。

狭心症や心筋梗塞を防ぐためには早めの検査と治療が何より大切です。特に健康診断や人間ドックで高血圧、高脂血症あるいは糖尿病と診断された方、また心筋梗塞や狭心症、心不全などの家族歴を持つておられる方には、心臓のCT検査で動脈の状態を確認していただくことをお勧めします。

今年の春、京都九条病院は新しく最新鋭のCT装置を導入しま

した。この装置で心臓のCT画像

を見ると、冠動脈の動脈硬化の程度と種類が分かるうえ血管内のプラークの状態も簡単に診断できます。歯にプラークが付いているなどと言いますが、ここでいうプラークとは冠動脈の血管内にコレステロールや脂肪などの物質と血中のマクロファージ様物質が沈着したものと考えられています。このプラークには安定プラークと不安定プラークがあり、同じように付着していても安定性のものならそれほど問題はありませんが、不安定プラークであった場合は心筋梗塞に移行する可能性があります。次の段階の検査を受けていただく必要があります。

高い専門性を持つスタッフが
最新の装置、器具を駆使して、
最先端のカテーテル治療を提供しています。

動脈硬化が進み、心筋梗塞や狭心症を発症する危険性が高いと診断された場合は、薬やカテーテルなどによって治療を行います。カテーテル治療とは直径1.5〜2mmほどの細い管（カテーテル）を動脈から入れて冠動脈内の血管を改善させる治療法で、先端

に小さなバルーンがついたカテーテルを通し、血管の狭窄部位で膨らませ内側から広げる風船治療、金属の網でできた筒（ステント）を血管内で広げ内側から補強する冠動脈ステントなどの治療法があります。このカテーテル治療は患者さんにかかる負担が少なく

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスケアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

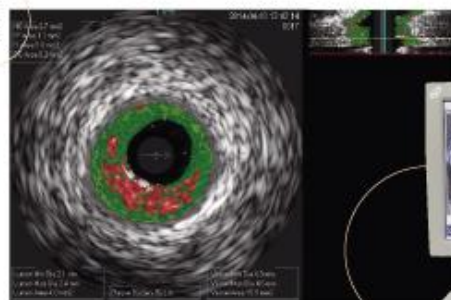
「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

血管内超音波診断装置で見た血管内部の様子(カラーで示された部分がプラーク)



治療前 血流が途絶えている状態



治療後 カテーテル治療により血流が正常に近くなった状態



血管内超音波診断装置

成功率の高い治療法ですが、残念ながら5〜10%くらい再狭窄を起こす方がおられます。その原因の一つに、血管内に入れた冠動脈ステントのサイズがきちんと合っていないということがあげられます。

当院では、再狭窄の危険性を低減させるために、CT検査に加えて血管内超音波検査で血管の中から動脈硬化の状態をしっかりと把握し、その病変の血管に合ったサイズの器具を使い治療を行っていますので、その点でも信頼していただくと自負しています。

私は医師になって二十数年間、ずっとカテーテル診断及び治療に従事してきました。国内外の大学病院でも、カテーテルの専門医

として働いてきましたので、心臓はもちろん下肢などの末梢動脈、鎖骨下動脈、腎動脈など全身の動脈硬化が起る血管に関して、は全て治療することができます。

京都九条病院の特質をフルに生かして、地域医療に貢献していきたい。

当院は地域密着型の病院であり、患者さんが気軽に受診しやすいという利点があります。また、急な検査や治療にも対応できるフットワークの良さや、さまざまな事態に柔軟に対処できるフレキシブルな体制も大きな特質といえます。そうした特質を生かしてこの心血管センターを京都の南地区のカテーテル治療の拠点とし、地域の開業医の先生や、診療所の先生方とも連携を図りながら冠動脈疾患、全身の動脈硬化性疾患に対する理解を浸透させ、地域の狭心症や心筋梗塞で悩まれる患者さん、これらの疾患で寝たきりになる患者さんを減らしていきたいと考えています。

当院の心血管センターでは、私を含めカテーテル治療のエキスパートが24時間体制で対応しておりますので、安心して受診してください。

特集 2 新しいX線透視撮影装置

短時間の息止めで
鮮明な画像を描出。

患者さんに優しい最新鋭の
CT装置を導入しました。

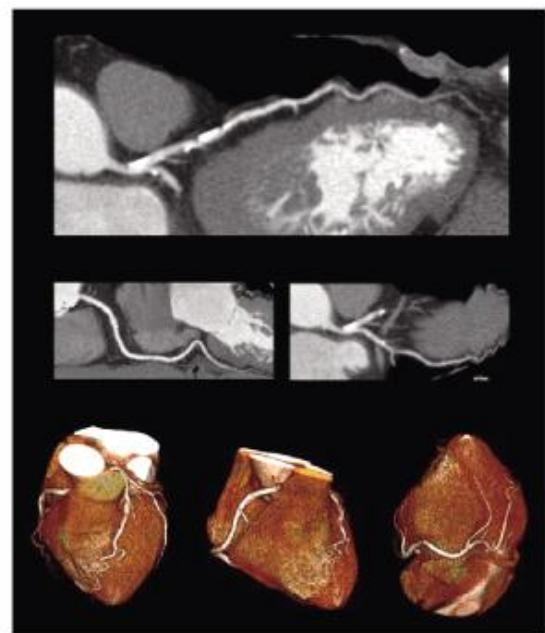


TOSHIBA
Aquilion PRIME

京都九条病院では、このたび、新たに80列マルチスライスCTを導入しました。80列のX線検出器を備え、一回転のスキャンで最大160枚の画像を明瞭に描出することができる高グレードCTで、京都でも設置している病院は数カ所という最新鋭の装置です。これにより、全身の各臓器の情報を短時間でさらに精確に得ることが出来るようになりました。

新CT装置の最大の特長は、患者さんに優しいこと。スキャンが速く、短時間の息止めで撮影がすむため、身体の動きによるブレが少なく鮮明な画像の描出も可能となります。

この装置がとくに大きな威力を発揮するのは心臓領域です。これまでの16列マルチスライスCTで検査を行う際には約20秒息を止めていただく必要がありましたが、新装置ではたった6秒程度ですみ、患者さんの負担が大幅に軽減されます。冠動脈の細かな血管も鮮明に映し出すことができるため、狭心症や心筋梗塞の原因となる冠動脈の狭窄・閉塞の状態が精確に把握でき、治療が進めやすくなります。また、被ばく線量が従来の約50%に低減



高速スキャンを利用した撮影装置。3D構成による画像もさらに進化、動脈がより鮮明に描出でき狭窄などの診断に役立ちます。

されたことも大きなメリットです。被ばくに対する不安を軽減すること、CT検査を受けていただきやすくなりました。さらに、この装置では造影剤の量も少なくてすむため、その点でも患者さんのご負担が軽減されています。

さらに、当院では新CT装置の導入に合わせてワークステーションを更新しました。これによって新CT装置とのコラボレーションも格段に向上し、より高品質で分かりやすい画像が見られるようになり、治療に役立つのはもちろん、患者さんに画像で治療前の状態と治療後の状態を確認して

いただくなど、術後説明にも役立つものと考えています。

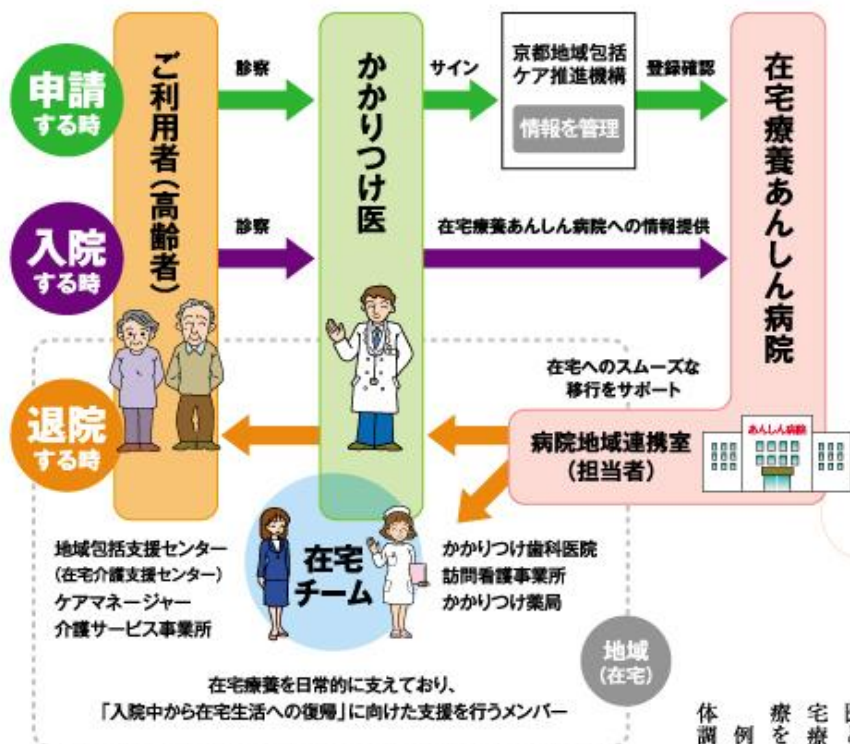
今までよりも、さらにCT検査が楽に受けていただけるようになりましたので、高血圧や高脂血症、糖尿病などの虚血性心疾患の危険因子を持つておられる方は、この機会にぜひスクリーニングとしてご利用下さい。



京都九条病院 検査部長 渡里 弘

特集 3 在宅療養あんしん病院とは

もしもの時のために、「在宅療養あんしん病院」にご登録ください。



在宅療養を日常的に支えており、「入院中から在宅生活への復帰」に向けた支援を行うメンバー

例えば風邪をひいたりちよつと体調を崩した時など、一般的には入院するほどではない軽度の病状の場合も予防的に入院できるので、病状の重症化を防げるうえ、早期に対処することで早期回復が望めます。

また、登録いただくのと、担当のケアマネージャーや訪問看護師をはじめとする在宅療養のスタッフからの情報がスピーディーにかつ的確に把握できるので入院から退院にむけて在宅チームと連携してサポートできます。そして、安心

安心して在宅療養を続けていただくために、京都には「京都地域包括ケア推進機構」が推進する「在宅療養あんしん病院 登録システム」があります。

在宅療養中の高齢者の方がこのシステムにご登録いただくこと、在宅療養を続けることが一時的に困難になったとき、かかりつけ医と相談の上、予め登録した「在宅療養あんしん病院」で入院治療を受けることが出来ます。

例えば風邪をひいたりちよつと体調を崩した時など、一般的には入院するほどではない軽度の病状の場合も予防的に入院できるので、病状の重症化を防げるうえ、早期に対処することで早期回復が望めます。

「在宅療養あんしん病院」にご登録いただくには、登録申請書に申請者の情報、希望するあんしん病院名(入院したい病院、第三希望まで登録できます)、介護保険の利用の有無を書き入れ、かかりつけ医のサインをもらい、京都地域包括ケア推進機構に郵送していただきます。

登録対象者は65歳以上の高齢者ですが、65歳未満の方でも介護保険を利用して訪問看護サービスを受けておられるなど在宅療養中の方ならご登録も可能です。そのほか、詳しいことをお知



看護部副部長 南田 善久美 地域医療連携室 係長 社会福祉士 道下 智之

診療所の先生方へ

京都九条病院は、在宅療養後方支援病院です。在宅診療されている患者さんが、緊急対応が必要となった時、入院治療が必要となった時は、24時間対応いたします。ぜひ、前もって、患者情報の提供(共有)をお願いいたします。

京都九条病院 地域医療連携室

TEL 075-691-7121 FAX 075-662-6686

在宅療養あんしん病院登録システム

地域の医療関係者と在宅チームが一体となって高齢者の在宅療養生活を支えるしくみで、切れ目のない医療提供体制の構築に大きな役割を果たす京都で始まった制度です。

在宅療養あんしん病院登録システム

りになりたい場合、分からない場合は京都九条病院地域医療連携室で、ご説明と共に登録申請書の作成も行いますので、お気軽にご相談ください。また、かかりつけ医、地域包括支援センター、ケアマネージャーや訪問看護師にもお尋ね下さい。

※パンフレットも用意しております。



大学時代に仲間達とグラウンドを駆け回っていた頃を思い出すと、思いっきり身体を動かしたくなりますね。

お風呂に入れたり
サッカーで遊んだり、
子どもと過ごす時間を
大切にしています。

FACE
of
DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ⑧

京都九条病院 消化器内科

藤野 誠司先生
Seiji Fujino



この4月に消化器内科に赴任し、内視鏡治療を中心に診療に当たっています。最近ではインターネットにさまざまな医療情報が溢れています。そうした情報があったとしても患者さんの不安がなくなるわけではありません。できるだけ丁寧に説明し、ご自身の病状や治療法をよく理解いただいたうえで治療を行うよう心がけています。

私はもともとスポーツが好きで、なかでも球技が好き。学生時代はサッカークラブに所属していました。最近はテレビ観戦もなかなか出来ないのですが、スポーツニュースはチェックしています。今年はワールドカップイヤー、できれば日本戦の日はテレビの前でじっくりと応援したいと思っています。また、京都九条病院にはフットサルチームがあると

聞いているので、ゆくゆくはチームに参加して、観るだけでなくプレーを楽しみたいです。

いまの一番の楽しみは子どもの成長かな。子どもはいま5歳と4歳。早く帰った日はお風呂と一緒に入ってますし、休日は公園に行ってボール遊びをするなど、できるだけ子どもと触れ合うようにしています。私がボールを蹴るのを見ているせいか、最近4歳の息子がちよっとサッカーに興味を持ち始めたみたいで嬉しいですね。

もう少し子どもが大きくなったら遠方への家族旅行をしてみたいなと考えています。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ②

京都九条病院のイイところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のここが好き!!

好きな言葉
favorite word
「勇往邁進」
庄境 智里
栄養士 管理栄養士



時代のニーズに合わせて、挑戦しているところ。栄養士に限っても、糖尿病教室やNST(栄養サポートチーム)、また選択メニューの導入など、よいと考えられることには積極的に取り組んでいます。やりがいを感じているのは、患者さんへの栄養指導。「こういう食事がいいですよ」とアドバイスをすると、「知らなかった、頑張ってみよう」と前向きな姿勢になっていただけるのが嬉しいですね。毎日勉強ですが、初心を忘れず思いやりと気遣いができる栄養士になりたいですね。

好きな言葉
favorite word
「努力」
宮田 大資
事務部 医事課



スタッフの対応がいいですね。患者さんへの接遇はもちろん、他のスタッフに対する態度も優しく丁寧なので気持ちよく働けます。学生時代に東日本大震災の支援ボランティアをした経験から、困っている人をサポートする仕事が好きだったので、今はい職しました。この4月に入ったばかりで、今は周りに教えて貰いながら受付の中でカルテの出し入れや、窓口に来られた方の対応をしています。早く仕事を覚え、先輩のように何でもできるとなせる人材になりたいと思っています。

好きな言葉
favorite word
「向上心」
稲田 伸也
リハビリテーション部
理学療法士



教育がしっかりしているところです。日々の仕事の中で、先輩からは患者さんの回復がしっかりと支援できるように様々な指導を受けます。時には優しく、時には厳しく指導してもらったおかげで患者さん一人ひとりを大切にみることができ、勉強会が定期的に行われているため、刺激を受けながら成長できる環境です。自分にも後輩ができ、先輩達のように後輩の手本となり、患者さんから愛されるセラピストになるため日々精進していきます。

好きな言葉
favorite word
「患者さんお一人おひとりの人生を大切に」
釜子 優美子
看護部長室 課長
皮膚・排泄ケア認定看護師



病気を治療するだけでなく、在宅・介護施設など療養の場が移っても、患者さんの生活を支えるサポート体制が整えられている点です。私は褥瘡やストーマケアなどを担う認定看護師。院内の横断的な活動だけでなく、訪問看護への同行や介護施設に出向き、直接ケアを行う機会も頂いています。そういった場は専門的な知識が行き届かず、ケアに苦慮されているケースも多く見受けられます。このサポート体制を生かし、今後も患者さんの生活の質向上に努めていきたいと思っています。



院内散策
さんさん

②5 「平成25年度看護研究発表会」

主催 京都九条病院看護部

京都九条病院をはじめ同仁会グループの看護師は、看護の質の向上とさらなる医療サービスの充実を目的として様々な研究に取り組み、またそうした研究の成果を広く生かせるよう研究発表会を開催しています。

研究は、看護師が約一年かけて取り組みます。現場で気付いた看護の疑問や課題をテーマとし、さまざまなデータに基づいて研究が行われることから、これらの研究結果は看護の新たな知見を広げることになり、実際の看護に生かすことができます。

- 平成25年度は2回の看護研究発表会を開催しました。平成26年2月8日に行われた第1回発表会では、
- ①「拘縮があり苦痛の訴えが困難な患者への援助」
- ②「糖尿病透析予防指導が糖尿病患者の自己管理行動に及ぼす影響」
- ③「リハビリとの連携から退院支援を考える」

- のテーマで発表が行われ、最後に実習指導者研修会に参加した看護師から実習指導を行う上で必要な教育知識や現実在即した教育法などについての伝達講習が行われました。
- また、平成26年3月29日の第2回発表会では、
- ①「ストーマセルフケアの早期自立に向けて」
- ②「関節鏡下膝板修復術の看護師による温熱・マッサージ療法の有効性」
- ③「ピーチチェア体位時における体位固定の検討」
- ④「当院におけるERASの手法を取り入れた周術期管理遂行上の困難と課題」

これらの発表に加え、第1回と同様に「看護中間管理者研修Ⅰ」及び「認定看護管理教育課程ファーストレベル」の受講者から管理職にある看護師に向けて伝達講習を行いました。

発表されたテーマは看護師が現場で直面した課題についての実践的な研究であり、実際に患者さんの症状や痛みの軽減に役立つものだけに参加者の関心も高く、熱心に聞き入っていました。

これら京都九条病院看護部の看護研究は、毎年、日本看護学会で採択され、学会の論文集に掲載されています。

私たちは、患者さん一人ひとりを大切にしたい安全で安心な看護を目指して、これからも自己研鑽に努めてまいります。



医療法人同仁会(社団) **京都九条病院** 〒601-8453 京都市南区唐橋藤町10 TEL.075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マムフローラ**
〒617-0853 京都市東山区島津印寺島ノ院25-2
TEL.075-958-3388(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マムクオーレ**
〒601-8326 京都市南区古刹院南瀬合町40-3
TEL.075-691-7755(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マムクオーレⅡ**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町38
TEL.075-694-6555(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・**マム**
〒601-8454 京都市南区唐橋藤町16
TEL.075-691-3820(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問リハビリテーション
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町10
TEL.075-694-6644(代)

医療法人同仁会(社団)
ヘルパーステーション **マム**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町38マム・スクエア内2階
TEL.075-694-6622(代)

医療法人同仁会(社団)
京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町38マム・スクエア内1階
TEL.075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援 **マムステーション**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町38マム・スクエア内2階
TEL.075-694-6699(代)

医療法人同仁会(社団)
ショートステイ **マム**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町10
TEL.075-691-7657(代)

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町30
TEL.075-691-7788(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町30
TEL.075-691-5070(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ **SHIN-SHIN**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤町30
TEL.0120-558-756